北海道南幌町における第２期基本計画の概要

計画のポイント

南幌町は、基幹産業が農業であり、令和５年の農業産出額は約４２億円となっている。町の面積の約7割が農地となっており、米を中心に小麦、大豆、てん菜などの土地利用型作物のほか、キャベツ、長ネギ、ブロッコリー、白いとうもろこし「ピュアホワイト」なども生産している。こうした地元の農産物を特色ある製品などに加工する食料品製造業が集積するなど、町内全体の売上高３３.４%を占めている。

また、札幌市や新千歳空港、港湾などに近郊で交通アクセスが良いことから、物流関連企業の集積も進んでいる。さらに、本町を横断する国道３３７号が地域高規格道路に指定されており、バイパスとして整備が進められている。高規格道路が開通すると、空港や港湾などへの交通アクセスがさらに良くなり、物流関連企業の新規立地が期待されている。

こうした地域特性を踏まえ、農林水産分野における特産物を活用した事業展開を推進するほか、道内主要箇所から近郊である立地環境と交通インフラを活用した物流関連企業の立地促進を図ることで、雇用の創出や地域全体の付加価値を目指す。

促進区域

北海道南幌町

《促進区域図》

経済的効果の目標

・１件あたり４７百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を3件創出。
・これらの地域経済牽引事業が促進区域で１．３９倍の波及効果を与え、促進区域で１９６百万円の付加価値額を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

①南幌町のお米・小麦・キャベツ・とうもろこし（ピュアホワイト）等の特産物を活用した農林水産分野

②南幌町のお米・小麦・キャベツ・とうもろこし（ピュアホワイト）等の特産物を活用した食料品製造関連分野

③南幌町の国道３３７号等の交通インフラを活用した物流関連分野

【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：４７百万円超

【要件３：経済的効果が見込まれること（①、②のいずれか）】

①売　　上：１%以上増加

②雇用者数：３名以上増加

地域経済牽引支援機関

・南幌町商工会
・金融機関（空知信用金庫）

制度・事業環境の整備

・不動産取得税、固定資産税等の減免措置　・北海道産業振興条例に基づく助成措置
・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
・事業者からの事業環境整備の提案への対応　等

計画期間

計画同意の日から令和１２年度（２０３０年度）末日まで